

令和7年度補正予算案の概要

令和7年11月 防 衛 省

令和7年度補正予算案の概要

令和7年度補正予算案は、「「強い経済」を実現する総合経済対策」を踏まえ、

- ① 自衛隊の活動基盤や災害への対処能力の強化等
- ② 自衛隊等の安全保障環境の変化への的確な対応に必要な緊要性の高い経費を計上

【防衛省計上額:8,472億円】

- ① 自衛隊の活動基盤や災害への対処能力の強化等 2,213億円
 - 人的基盤の強化 1,674億円
 - 活動基盤の整備 461億円
 - 災害への対処能力の強化 78億円
- ② 自衛隊等の安全保障環境の変化への的確な対応 6,259億円
 - 自衛隊の運用態勢の早期確保 2,808億円
 - 米軍再編の着実な実施 3,451億円

①自衛隊の活動基盤や災害への対処能力の強化等【2,213億円】

(人的基盤の強化) 1,674億円

- ▶ 隊員の生活環境の整備を行うとともに、隊舎や庁舎等の建替等を集中的かつ効率的に推進
- 人事院勧告を踏まえた人件費の増額 361億円 (自衛官の給与の引き上げ等)
- ○隊員の生活環境の整備
 - ・ 寝具、洗濯機、冷蔵庫等の整備 25億円
 - ・ 隊舎居室の個室化 3億円
- 隊舎、体育館等の建替等 857億円
- 庁舎、整備場等の建替等 366億円

○ 空調設備の整備 62億円







【隊舎居室の個室化(イメージ)】







【隊舎の建替(イメージ)】



【老朽化した空調設備】

(活動基盤の整備) 461億円

- ▶ ドローン対処器材の早期導入、各駐屯地・基地等の通信網、電気・水道設備等を整備することにより 自衛隊の活動を支える基盤を強化
- ドローン対処器材の導入 29億円
- 北大東島への移動式警戒管制レーダー等の受入施設整備 160億円
- 沖縄の補給処支処新編に伴う施設整備 48億円
- 各駐屯地・基地等の通信網、電気・水道設備等の整備 30億円 🥞





沖縄の補給処支処 (イメージ)



移動式警戒管制レーダー等 受入施設 (イメージ)

(災害への対処能力の強化) 78億円

- ▶ 全国的に自然災害が多発していることを踏まえ、自衛隊の災害対処能力を強化
- 空中消火器材、非常用発電機等の整備 17億円
- ※硫黄島における噴火被害の復旧 31億円
- ※基地防災対策等 30億円



空中消火活動の様子



非常用発電機(イメージ)



硫黄島のパイプライン破損状況

②自衛隊等の安全保障環境の変化への的確な対応 【6,259億円】

(自衛隊の運用態勢の早期確保) 2,808億円

- ▶ 安全保障環境の変化が様々な分野で加速度的に生じている中、抑止力強化に向けて自衛隊の運用態勢を 早期に確保
- ○航空機、艦船の運用態勢の早期確保による能力の向上 1,222億円



多用途へリコプター(UH - 2)



護衛艦 (FFM)



たいげい型潜水艦

○03式中距離地対空誘導弾(改善型)の早期整備等の各種弾薬等の確保 566億円



0 3 式中距離地対空誘導弾(改善型)



12式地対艦誘導弾

(米軍再編の着実な実施) 3,451億円

- > 日米同盟の抑止力・対処力の強化と地元負担の軽減を実現する、米軍再編事業を着実に実施
 - 空母艦載機の移駐等のための事業 2,751億円(馬毛島における滑走路、係留施設に係る施設整備等)

音天間飛行場の移設 534億円 (普天間飛行場代替施設の建設等)

○ 嘉手納以南の土地の返還 165億円(米軍施設・区域の返還を進めるための移設先の整備)



【馬毛島における施設整備】



【普天間飛行場代替施設の建設】